



2021年3月31日

三好市議会議長 様

三好市議会議員 高橋玉美 

2020（令和2）年度政務活動費収支報告について

三好市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、別紙の通り
2020（令和2）年度政務活動費収支報告書を提出いたします。

2020（令和2）年度政務活動費収支報告書

三好市議会議員 高橋 玉美

1, 収入

政務活動費 199,163円

2, 支出

項目	金額	備考
調査研究費		
研修費		
資料作成費		
資料購入費	144,163円	週間保健衛生ニュース1年間他
広報費	55,000円	「市議会レポート」2回発行
広聴費		
会議費		
要請・陳情活動費		
合計	199,163円	

3, 残額 4,837円

資料購入費支出一覧

年 月 日	支 出 内 容	金 額
2020年 6 ⁴ 月27日	週間保健衛生ニュース（R2年4月～R3年3月）1部	31,500円
2020年8月31日	「週刊金曜日」1年購読507円×48冊購入	24,343円
2020年12月17日	新婦人しんぶん代（2020年4月～2021年3月）1部	6,960円
2021年3月1日	しんぶん赤旗日刊・日曜版（2020年4月～2021年3月）1部	73,320円
2021年3月19日	月刊自治研（R2年4月～R3年3月）1部	8,040円
合 計		144,163円

請求書

高橋 玉美 様

101-0041



下記のとおりご請求致します (消費税込)

ご請求額 ¥31,500-

請求書番号 H 700073 - 0000

令和2年4月 / 日

雑誌名	購読期間	数量	単価	金額
週刊 保健衛生ニュース	令和02年04月 ~ 令和03年03月	1		31,500

振込銀行口座

三菱UFJ 銀行 神田支店 普通預金
みずほ 銀行 神田支店 普通預金
口座名義 (有) 社会保険実務研究所

※お願い

お振込の際は、ご依頼人名の前か後に請求書番号をお入れください。

! ご契約は自動更新となっております。ご購入中止の場合は必ずご連絡ください。(ご連絡をいただかない限り継続となります)

払込受領証 (コンビニエンスストア用)

私達人氏名 高橋 玉美 様

2020/04 - 2021/03

お客様番号 H 700073 - 0000

金額 31,500

内消費税相当額 2,863

受取人 社会保険実務研究所

コンビニエンスストア用 収入印紙

35,8569

2020年4月 附印

ローソン三好 大塚店

(コンビニエンスストアへお客様)

『週刊金曜日』は定期購読者が支える

1年購読 約507円×48冊 = 24,343円 半年購読 約518円×24冊 = 12,426円

『週刊金曜日』定期購読申込書 1307

本誌送付先
フリガナ
お名前 **高橋 玉美**
ご住所 〒 **778-0201**
徳島 都道府県 **三好** 市区部 **東新谷町**
640-2
お電話 **0883-88-2677**
振替用紙・手続用紙の送付先 (上記と異なる場合)
フリガナ
お名前
ご住所 〒
都道府県 市区部
お電話

お支払方法 郵便振替 一括 半年 1年
に を1カ所つけてください 自動引落し: 月々払い

本誌の定期購読は?
初めて
以前定期購読していた

本誌を最初に知ったのは?
新聞広告()
雑誌広告()
編集委員の書籍()
書店で見ても 知人・友人
宣伝版・チラシ 図書館
ホームページ
弊社出版物()
講演会()
その他()

通信欄

コピーまたは切り取ってハガキ裏面に貼り付けてお送りください。封書・FAXでも結構です。

払込受領証
(コンビニエンスストア用)

払込人氏名
高橋 玉美 様

請求番号
20200046890000000

受取人
株式会社金曜日

金額
24,343円
(内消費税 **2,213円**)

受領印
払込用紙貼付欄 (CVS専用)
20.8.31
受取日(印)

ゆうちょ銀行または郵便局でお支払いの場合は左欄の金額の2割だけをお出しください

(コンビニエンスストアへお客様渡し)

請求者

No. _____

高橋 玉美 様

2020年12月8日
下記のとおり 申し上げます

税込 合計金額		税率	消費税額等
¥ 6,960.-		%	
品名	数量	単価	金額 (税抜・税込)
新日本婦人の会 2020.4月~ 2021.3月分	12	410	4920
同上郵送料	12	170	2040
〒770-0604 徳島市南田宮1丁目 新日本婦人の会 徳島県本部 TEL・FAX E-mail			
合 計			6960

コクヨ W-360

振替払込請求書兼受領証

口座 記号 番号	016100	通書振込 料金加入 者負担
加入者名	新日本婦人の会 徳島 県本部	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円	
	¥ 6960	
ご依頼人	高橋玉美様	
料 金 備 考	日 附 印	
	02-12-17 大歩危 郵便局 (62048) N94120004	

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

領 収 証

高橋玉美様

No. _____

金額

773320-

内 訳

現金

小切手 /

手形 /

消費税額等 (%)

但赤旗日刊, 日曜版(郵送代金込) 2020/4 ~ 2021/3
2021年3月1日 上記正に領収いたしました

〒776-0020 徳島県吉野川市鴨島町西麻植字大東

日本共産党阿北地区委員余

電話(0883) _____

FAX(0883) _____

領 収 書

高橋 玉美 様

8,040 円

月刊「自治研」 令和2年4月分～令和3年3月分

令和3年 3月19日

出版物取扱者



様式第4号（申し合わせ第4条関係）

2021年 3 月 31 日

三好市議会議長 様

三好市議会議員 高橋 玉美

広報紙・報告書等発行届出書

次のとおり、議会活動に関する広報紙・報告書等を発行することとしましたので届け出ます。

発行部数	「市議会レポート」各2,000枚
配布時期	第1回配布2020年10月中旬 第2回配布2021年2月下旬
配布方法	<input type="checkbox"/> 郵 送 <input type="checkbox"/> 新聞折込 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (具体的に) 訪員による配布

※ 広報紙・報告書等の原稿を添付すること。

様式第13号(申し合わせ第6条関係)

広報費支出一覧

年 月 日	支 出 内 容	金 額
令和2年10月21日	「市議会レポート」たまちゃん通信 2000枚	55,000円 2分の1按分 (27,500円)
令和3年2月3日	「市議会レポート」たまちゃん通信 2000枚	55,000円 2分の1按分 (27,500円)
	合 計	110,000円 2分の1按分 (55,000円)

様式第14号（申し合わせ第6条関係）

広報経費内訳書

広報の内容：たまちゃん通信（10号・11号）発行A4裏表による議会活動報告

項目	金額	備考
印刷製本費	110,000	令和2年10月：55,000円 (A4サイズ)10号 令和3年2月：55,000円 (A4サイズ)11号
合計	110,000	

※ 作成した広報紙・報告書等を1部添付すること。

※ 領収書を添付すること。

複数人での支出の場合は、当該支出に関する議員氏名

--

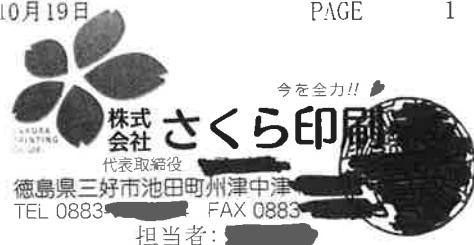
納品書

No. 00001283

売上日 令和02年10月19日

PAGE 1

高橋たまみ様



お客様コード No. 900843

品番	品名	数量	単価	金額	備考
	たまちゃん通信 VoL10	2,000 枚		50,000	
取引銀行：阿波銀行 池田支店 当座		合計	税抜額	50,000	消費税額
				5,000	総額
				55,000	

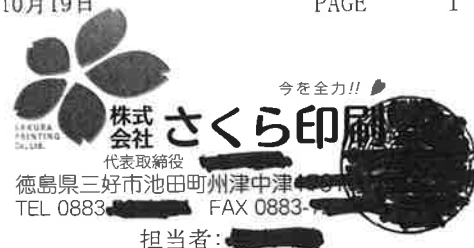
請求書

No. 00001283

売上日 令和02年10月19日

PAGE 1

高橋たまみ様



お客様コード No. 900843

品番	品名	数量	単位	単価	金額	備考
	たまちゃん通信 VoL10	2,000 枚			50,000	
取引銀行：阿波銀行 池田支店 当座		合計	税抜額	50,000	消費税額	5,000
					総額	55,000

領収証

No. 035736

高橋 たまみ 様

金額	百万	7	千	55000	円
----	----	---	---	-------	---

200円

但

上記の金額正に領収致しました

令和 2 年 10 月 21 日

取扱者印

株式会社 さくら印刷

代表取締役

〒778-0020 徳島県三好市池田町州津中津

TEL(0883) XXXX-XXXX FAX(0883) XXXX-XXXX



たまちゃん通信

Tamami net Communications



1 コロナ禍の
三好市を歩いて

学校・保育所

高齢者施設

保健所・病院

コロナ禍の三好市を歩いて

2020年は『コロナ』という言葉が聞かない日は1日たりともなかったように思います。全国で緊急事態宣言が解除されて以降、「新しい生活様式」に則した日常生活に変わりつつあります。

観光地では「GOTOキャンペーン」の効果か、人の動きが出ていると同時に、第3波、第4波を心配する声も多く聞かれます。また、これからの台風をはじめ自然災害が心配な時期は、避難所でも感染症対策に配慮した心構えや準備も必要となってきます。

▼これまでも、高齢者施設や保育所、学校など、多くの人々が生活を共にする場所で、感染症対策に取り組みされていますが、自粛生活は筋力の衰えやコミュニケーション不足をもたらし、不安やストレスをかかえています。『コロナうつ』を引き起こす人もいます。身体と心へ様々な影響を与えているようで、コロナ対応の窓口となる保健所には、毎日相談が寄せられています。▼三好市は、国の支援策に追加して独自の支援制度を打ち出しています。感染が長期化することが予想され、地域の実情に合った更なる支援にも知恵を出していかなければなりません。今後、むけて何が必要か考えるために、医療や介護、保育や教育の現場に行き、話を伺ってきました。



*緊急事態宣言の期間「たまちゃん通信」の発行やご家庭へのあいさつは控えさせていただきます。



保健師34年の経験をいかし、健康で安心して暮らせる三好市をめざします!

「コロナの影響」みなさんの声を集めました



学校・保育所では



ため、座る時間もな
いほど忙しくなった」
と話してくれました。

2月末に、全国の
小・中・高・特別支
援学校が、一斉休校
となり、急な措置に
学校現場も保護者も
対応に追われました。
多くの保護者は子ど
もの預け先を探さね
ばならず大変でした。

休校の間は朝から
児童クラブに行くた
め給食がなく、小学
生3人を育てている
母親からは、「毎日、
子どもと夫と自分の
弁当5つを作らなけ
ればならないため、
毎日大量の買い物
をするようになり、出
費がかさんだ。家に
帰ってからは、翌日の
弁当の下ごしらえの

また、再開後の学
校現場では、子ども
たちが学校での生活
リズムになかなか
じめないという話や、
学校では短期間で授
業の遅れを取り戻す
ため、先生たちも大
変であるという話を
聞きました。ある父
親は、「休校期間中は
子どもが家でゲーム
をする時間が多くな
り、学校が再開され
ても、『ゲームの世界』
と『現実の世界』の
区別がつかなくなっ
た」と悩んでいまし
た。

幼稚園や保育所で
は、手洗い・うがいの

励行や消毒などの感
染拡大の防止策はとっ
ているものの、保育中
はどうしても密を避
けられず、感染者が出
ると一気に拡大して
しまうのではないかと
不安な毎日です。保
育者全員がマスクを
着用し、常に顔半分
が隠れているため、
心の発達上、とても
大切な保護者の表情
を子どもたちに見せ
ることができません。



各自治体には、コロ
ナ感染症対策で数億
円の巨額予算があり
てきていますが、各
学校や幼稚園、保育
所等で、本来に必要
なものが品切れで購
入出来ないといった状
況が続いています。

感染拡大が進む
中、再び休校になる
のではないかと、遅れて
いた勉強は取り戻せ
ているのかなどの不安
もあります。しかし、
まずは、感染防止を
しながら子どもたち
が『学ぶ権利』『保育
を受ける権利』をど
う保障するか、また、
子どもたちをもつ親
が働きながら子育て
することのできる休
暇や賃金面での補償
を充実させること、
子どもたちの受け入
れ先である学校、保
育現場での施設、人

的体制を整えること
が必要で、
現場の声をしっかり
聴きながら、今やる
べきこと、そして5年
後10年後を見据えて
やっていくことを洗い
出していかなければい
けません。





高齢者施設では



◆特別養護 老人ホーム◆

現在、特別な事情を除いて面会禁止。感染症対策（検温・マスク・手袋・アルコール消毒等）の徹底に集中する日々が続いています。

施設内感染を予防するために、職員やその家族も緊張した生活を送っています。介護を必要とする高齢者は持病もあるため、職員は入所者の体調変化に細心の注意を払わなければならず、精神的にもピリピリしています。施設内での面会制限や地域ボランティアの受け入れ、イベントの減少等で楽しみが減り、入所者の意欲や体力の低下が心配されます。また、感染予防対策に必要な防護服、衛生用品等の不足や

特に施設内で感染症が発生した時に、本当に人が足りるのか、人材確保が大きい問題です。

海外からの介護労働者も多く、資格を取得すれば他の施設に移る人もいます。国内はもちろん三好市でも介護現場の労働者不足は深刻さを増し、介護労働者の確保が求められています。

感染すれば重症化しやすいため、人一倍感染予防にはどの施設も気を使われています。

◆デイサービス センター◆

在宅高齢者を支える通所介護施設で、障害や難病、認知症の方も多く利用されています。センターは、高齢者が家族以外の人達と交流できる「みんなに会いたい」をかなえてくれる場であり、家族にとってもなくてはならない施設です。コロナ禍の中でも感染症対策（体温測定・マスク着用・う

がい手洗い・アルコール消毒等）を行いながら受け入れを続けています。施設内に入るのには利用される方と職員のみで、外部の関係者は事務所窓口で対応し接触者を制限しています。施設内ではできるだけ利用者の希望を尊重し、楽しい時間を過ごす工夫や、生活リズムを整えるために、感染予防対策を徹底し、利用を勧めています。

◆養護老人ホーム◆

面会や帰宅の自粛やイベントの中止が続き、出掛けることができず利用者の生活の



場が狭められていきます。職員も家族のお葬式への出席を控えたり、利用者の外泊や面会が制限される中での仕事で、ストレスがたまっているとのこと。延期していた「買い物交流」を実施するため、感染防止対策について職員間で話し合いをし、実現させたいと話されていました。

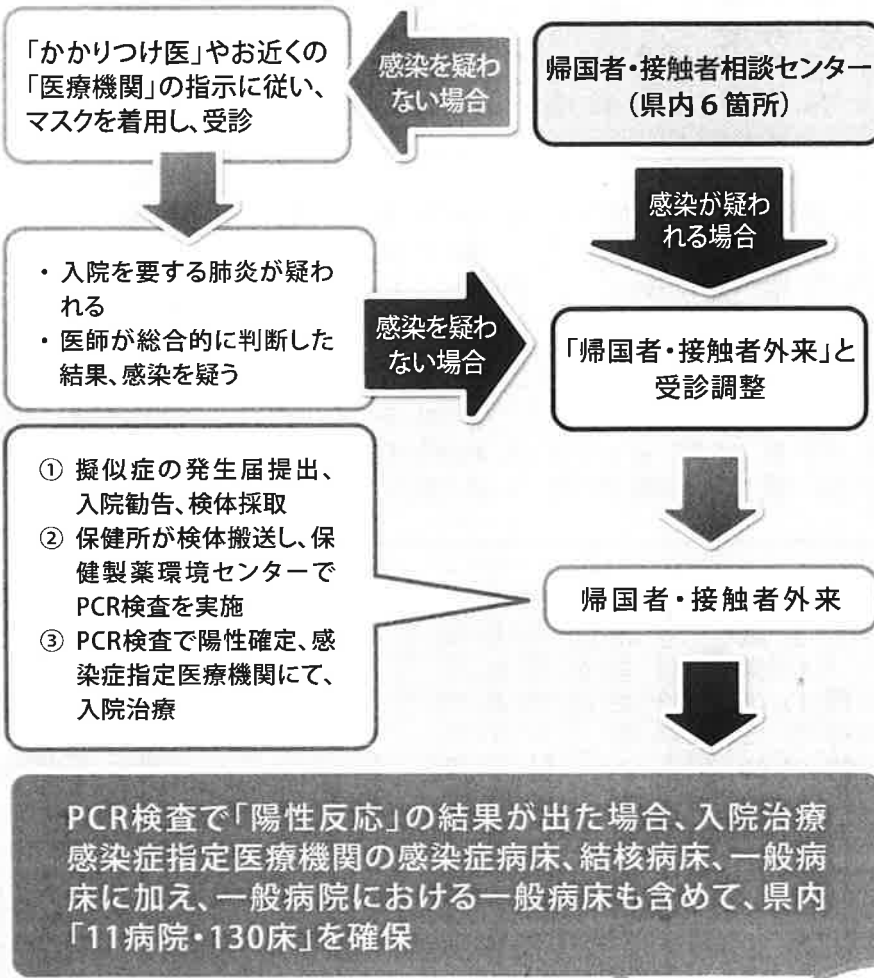




保健所・病院では

感染症対策を第一線で支える公衆衛生・医療は、「感染者を増やさない」「感染者を守る」ために保健所や指定医療機関、民間医療機関とも連携して対策をすすめます。三好保健所では通常業務に加え、コロナ対応の業務が殺到し、行政検査として無料で行われるPCR検査、感染者（疑いも含め）の追跡調査、濃厚接触者への対応など、医療機関との調整、相談業務等、多くの業務に追われています。多忙をきわめている担当者に「今、住民に伝えたいこと」を伺うと、「感染された方はそれだけでも大変な上に、差別や偏見が重い負担としてのしかかっている。感染症は体力低下している人はかかる心配があるし、誰が感染するかわからない。また、自分が感染しているかもしれない、だから自分がうつつさないための対策を一人一人がしてほしい。感

新型コロナウイルス感染症が疑われる場合の対応



染者に対する支援と啓発活動を通して、正しく情報発信をしていきたい」と話されていました。一方で今、医療現場は混乱の中で感染症と向き合い、多くの医療従事者の方が療養をサポートしています。医療機関は感染症以外にも多くの患者さんがおられます。特に県西部は人口減

少・高齢化が進み、地域の医療体制も脆弱です。指定医療機関である県立三好病院では「一般診療」「救急外来」「感染症外来」「終末期医療」「かかりつけ医」といった様々な健康問題に対応されています。市民が地域で安心して生活をし、平等に医療が受けられるためには、そこに病



住民の皆さんの生活・健康・人権を守るのは行政の務めです。何でもご相談ください。

〒778-0201
三好市東祖谷菅生640番地2
電話: (0883) 88-2677
E-mail: tamami.t.mm@cloud.com



— 人が大切にされるまちに —

たまちゃん

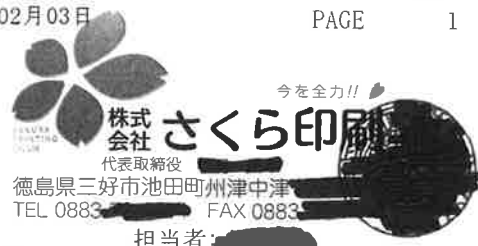
納品書

No. 00006101

売上日 令和03年02月03日

PAGE 1

高橋たみみ様



お客様コード No. 900843

担当者: [Redacted]

たまちゃん通信 VOL11	2,000 枚	50,000					
取引銀行：阿波銀行 池田支店 当座 [Redacted]	合計	税抜額	50,000	消費税額	5,000	合計	55,000

4

領 収 証 No. 036816

高橋 たみみ 様

金額	百万	7	千	5	0	0	0	0	円
----	----	---	---	---	---	---	---	---	---

内 訳	現金	✓
	小切手	
	手形	
	相殺	

但 上記の金額正に領収致しました

令和 3 年 2 月 3 日

200円

取扱者印 [Redacted]

株式会社 さくら印刷

代表取締役 [Redacted]

〒778-0020 徳島県三好市池田町州津中津
TEL (0883) [Redacted] FAX (0883) [Redacted]



たまちゃん通信

Tamami net Communications



- 1 9月議会(一般質問)
- 2 12月議会(一般質問)
- 3 同性パートナーシップ
認証制度化に向けて一歩前進!
- 4 「県内女性議員
ネットワーク」立ち上げ
- 5 東へ西へ

ごあいさつ



日ごろのあたたかいご支援に、心より感謝を申し上げます。

世界中が新型コロナウイルス感染症に見舞われる中、国内における感染者は増加する一方です。医療のひっ迫が心配される中で、感染拡大を防ぐための行動の自粛など、生活上の制限が今も続いています。

コロナ危機をめぐる様々な場面で、世界標準に満たない日本の男女間の不平等が浮き彫りとなってきました。政治とくらしが深くかわり合っているならば、平等を実現することは、現在・過去・未来を通じて私たちの大きな課題であるとも言えます。

また、ウイズコロナ、アフターコロナの社会をどう築いていくのが論じられていますが、足元の「三好市をどんな地域にしていくのか」「地域を支える人たちのくらしはどうあればいいのか」「子どもたちが将来活躍できる三好市をどう築けばいいのか」など、将来に向けての課題は山積みです。そのひとつひとつの問題解決に向け、今年も精一杯頑張っていきたいと思っています。

今後とも、より一層のご指導ご支援をいただけますようお願い申し上げます。

三好市議会議員 高橋 玉美

1 9月議会(一般質問)

東西祖谷、山城支所の宿直の継続を

Q 東西祖谷は、65歳以上の高齢化率が56.7%(2019年)、2人に1人は高齢者であり、ひとり暮らしの世帯は160世帯です。近年、異常気象が多発し、とりわけ自然災害の多い地域では、夜間でもいち早く対応してくれる宿直の役割は大きく、重要な支所機能の一部となっています。経費節約だけで宿直廃止の議論をするのではなく、地域の特性や実情を考慮し、2021年4月からの宿直の継続を求めます。

① 宿直廃止に至った経過と今後の方向性は。

② 宿直を継続してほしいという多くの住民の声を把握していますか。

A ① 2018年策定の第2期三好市行財政改革実施計画の中での、行政運営のスリム化を目指す項目の一つとして、支所当直業務の見直しを挙げている。台風等の災害発生のおそれがある緊急時には、支所長に連絡がとれる体制や、非常時には支所職員に加えて事前に本庁職員を派遣するなど災害配備体制をとっている。また、支所庁舎の新築や耐震工事に合わせて、警備システムを導入していく予定である。

② 住民からの申し入れや要望等については、直接聞いていない。

新型コロナウイルス感染症対策 生活支援と子どもの心のケア

Q ① 県内でも幅広い年齢層での感染者が出ているが、特に重症化しやすいのは高齢者、持病をもっている人、免疫力の低下している人たちです。公立、民間の特別養護老人ホームや養護老人ホームなどの施設、また障がい者施設サービスに対する支援や病院などに対する今後の支援についてどのように考えますか。

② 病院やホテルなどで経過をみるケース以外で、在宅で入院の調整を行う人、特別な事情があり在宅で経過をみなければいけない人に対して、その期間中の買い物や食事などの支援をどのように考えていますか。



③感染すること子ども心の負担は重く、科学技術振興機構による新型コロナウイルス流行期における子どもの健康、生活に関する全国調査によると、子どもの32%が感染したことを秘密にしたいと答えています。差別や偏見の対象となるような印象を社会が個人に、植えつけていくという問題は避けて通れないと考えます。特に子ども心の健康状態について注意を払う必要があります。そのケアについてどのように考えていますか。



A ①休業要請を受けた事業所、感染が発症した事業所、濃厚接触者に対応した事業所、施設などの消毒、衛生用品の購入費用の支給を行っている。また、休業要請を受けた施設、感染が発生した事業所、施設に対しては、割増賃金、手当の支給および利用者の引継ぎ時の費用支援を行っている。

②感染症法では、都道府県知事が入院の勧告ができることになっている。徳島県では感染者全員が入院療養し、症状が消えた後も県が借り受けているホテルで療養した後、県と医療

機関の医師と相談の上、帰宅可能である。市民から市に対して、自宅療養での生活支援の要請はないと考える。

③県教育委員会から8月に「新型コロナウイルス感染症に関する差別、偏見の防止に向けた文部科学大臣メッセージ」、9月には、県教育長メッセージが出され、学校を通じて児童・生徒・保護者あてに送付している。市教育長からも差別や偏見につながるような発言やSNSへの書き込みをせずに正しい知識をもつよう、各学校への啓発を行っている。市教育委員会としても、学校や家庭と連携し、感染した児童・生徒に寄り添ってケアを行い、発生校へのスクールカウンセラー・ソーシャルワーカーなどの派遣要請を早急に行う。

2 12月議会(一般質問)

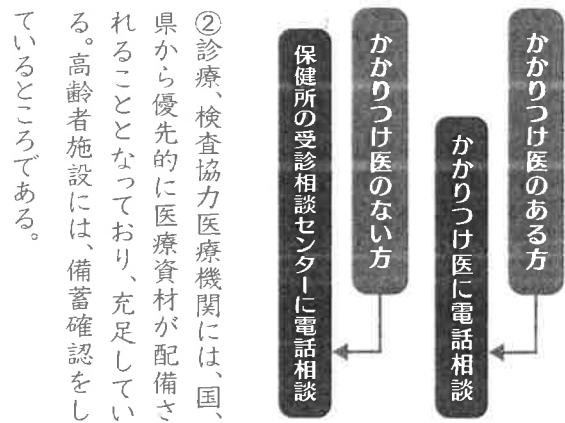
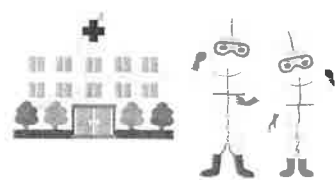
コロナウイルス感染症 相談窓口はどうなるか

Q 11月から発熱などの症状があった時の相談窓口が、「帰国者接触者相談センター」から「かかりつけ医」に相談という流れに変わりました。

①患者が相談をしたい場合に、どのような流れで受診、検査、療養などを受けることができますか。

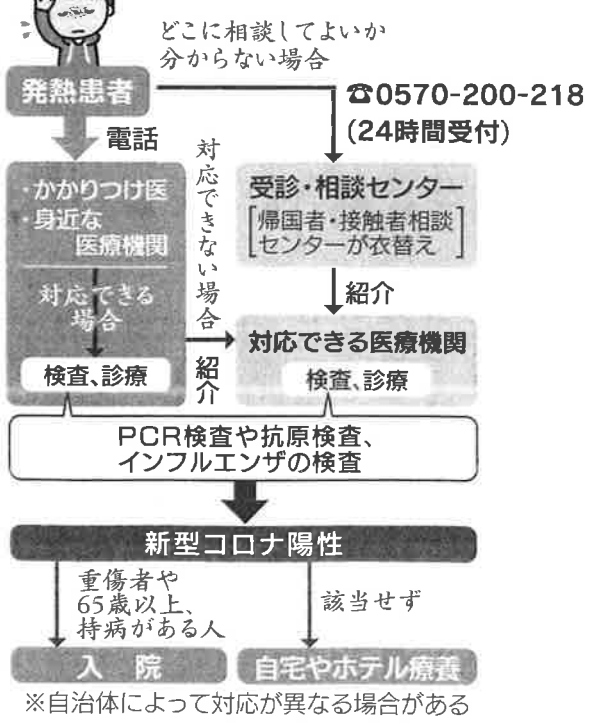
②三好市内の病院や施設など、民間も含めてマスクや防護服は充足されていますか。

A ①インフルエンザ流行期となる11月からは、保健所だけでは対応が困難なことから、以下のような。



②診療、検査協力医療機関には、県から優先的に医療資材が配備されることになっており、充足している。高齢者施設には、備蓄確認をしているところである。

新型コロナウイルス感染症相談窓口 検査・診療の流れ



オンライン授業 子どもへの影響は？

Q 新型コロナウイルス感染症による一時休校で、オンラインの活用が広がり、オンライン学習が進む中で、今後三好市の子ども達の学習環境が大きく変わってくると思いますが、

① ネット依存傾向による視力低下や運動不足など健康被害の状況が問題視されています。ルール作りや学校での生活の工夫など、対策を立てる上での情報共有や対応は。

② 諸外国ではネット上での性被害から身を守るための性教育の取り組みがされていますが、教育現場ではどうか。

③ 一人一台の端末配置で教育効果の期待がされていますが、人員配置にゆとりがない状態では難しい。今後学校への人的支援などは考えていますか。

A ① 平成28年に市内全中学校にルールや約束づくりを依頼し、午後何時以降は使わない、平日の使用は一時間以内とするなどのルールづくりをしている。また小、中学校の児童、生徒、各家庭でのルールを設け、健康被害につながらない利用の確立をお願いしている。

② 毎年各学校において外部講師を

招き、子どもたちがネット犯罪に巻き込まれないよう、スマホ安全教室を開催するなど、子ども、保護者に対しての啓発を行っている。

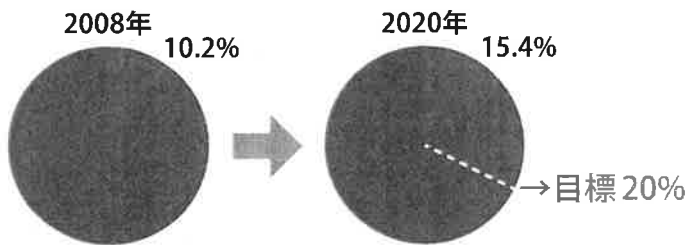
③ 学校現場の負担を軽減するため、ICT支援員の配備や常時問合せに対応できるヘルプデスクの導入などについて検討を行っている。全国一斉での開始に向け、適任者の確保、市内20校全学級への訪問頻度、予算など問題は山積みだが、各学校と連携しながら、無理のない形で導入していく。

男女共同参画について 決定の場への参加は？

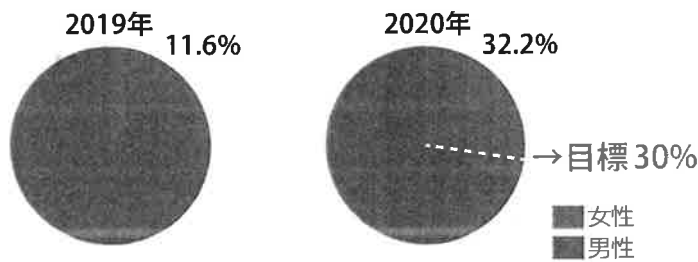
Q 三好市の女性の政策、方針決定の場への参加率、市役所の課長など管理職への登用率は目標に達しているでしょうか。女性の意識も変えながら、参加しやすい環境を整えていくことが大切です。コロナ禍で男女間格差があらためて浮き彫りになりました。不安定雇用や解雇、女性の自殺増加など状況は深刻です。人権尊重、男女共同参画に向けて継続した取り組みを求めます。

A 三好市における審議会等、管理職の女性参画率

〈審議会〉



〈行政委員会〉



3 同性パートナーシップ

認証制度化に向けて一歩前進！

三好市議会全会一致で採択される

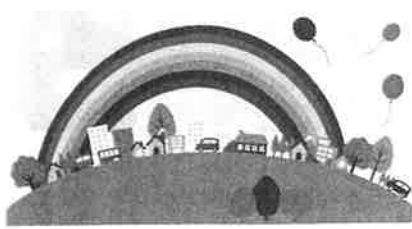
9月議会で、同性パートナーシップ制度陳情に対して全会一致で採択がされました。この制度は、「心の性と体の性が違う性的少数者(LGBT)のカップルに対して婚姻と同等であると自治体が承認証明できる制度です。LGBTは日本全国では約1000万人いると言われています。全国では57自治体で制度化されており、徳島県内では徳島市に次ぐ2例目となりました。これを提出したのは、徳島市の支援団体「レインボーとくしまの会」で、8月末に三好市を含む県内7市議会に一斉陳情をあげていました。

私の所属する文教厚生委員会の中で賛成討論を行い、三好市における必要性について次の2点を述べました。1点目は2010年の国連の勧告を受けて、すでに教育現場ではLGBTについての人権教育が始まっており、LGBTを支える社会の仕組みづくりが必要であるということ。2点目は第3次三好市男女共同参画基本計画の中での

主要課題として「人権尊重・性の尊重をすすめていくこと」が明記されていること。男女共同参画をすすめていく上で、性の多様性を広く正しく理解すると共に人権尊重の取り組みにつながることを訴えました。



《レインボーとくしまの会》は、性の多様性をめぐり、法的支援のない中で社会に出ると、偏見や差別を感じる人がいることを勇気と行動をもって発信されました。これからも政治を変えていく『声』をしっかりと受けとめ、議会に届けていくことができる議員でありたいと強く思いました。



女性の声をもつと議会へ届けよう

4 「県内女性議員 ネットワーク」立ち上げ

12月20日、徳島県内の女性県議5人が市町村議員に呼びかけ、「県女性議員ネットワーク」を立ち上げました。これは、議会の中ではまだまだ少数派の女性議員(県内では全体の1割程度)が自治体の枠を越えてつながり、学び合い連携しようとするものです。初会

合では、ドメスティックバイオレンス(DV)をテーマにした講演会が行われ、コロナ禍でのDVの増加や、特別定額給付金を世帯主である夫に横取りされた妻が続出し

ていること、シングルマザー世帯の経済的貧困が悪化していることなどの実態が報告されました。DV支援に向け、ネットワークで情報共有し、問題解決に向けて女性議員が関わってほしいとの話を聞きました。議会はまだまだ『男社会』であり、三好市議会でも女性は私一人ということ、同性の皆さんからのご意見を伺ったり相談を受けることもたくさんあります。女性の抱えている問題の解決に向け、県内の女性議員の皆さんと一緒に勉強していきます。



女性県議の仲間と
森林伐採状況の視察



年末に孫とほっこり
タブレットに興味津々



バスを待つかかしたち
東祖谷名頃



東へ西へ

5

不安に思っていること、ご意見、ご要望など、何でもご相談ください。



たまちゅん

〒778-0201
三好市東祖谷菅生640番地2
電話: 090-8282-8053
E-mail: tamami.t.mm@cloud.com